



男と女のひまわり
心はまるく、目の前の人・私を大切に…
 4月22日、南条文化会館で男と女とのつどいが開催されました。

これは、男女が助け合い、あらゆる分野でお互いに生かし合い、優しい男と女のまちを目標とすると、教育委員会と南越前町男女ネットワークが開いたもので約200人が集まりました。僧侶でアナウンサーの川村妙慶さんによる「心の荷物をおろす」人生に役立つ智慧」と題した講演が行われ、優しい口調と楽しい内容に参加者らは癒しのひとときを過ごしました。



ここの大漁まつり
大きな魚を狙って

4月29日、甲斐城拠点公園駐車場でこの大漁まつりが開かれました。この日は今年初めて30度を超える真夏日となり、会場は家族連れなど大勢の人でにぎわいました。

とれたてのブリやアジなどの鮮魚が並べられた大特価市や焼きイカなど海の幸の販売が行われたほか、大漁鍋振る舞いには30分以上も前から長蛇の列ができ、大きなカニが入った具沢山の鍋は好評。また、特に人気を集めた活魚のすくい取りでは、目を輝かせた子どもらが網を使って懸命に魚をすくい上げ、大きな魚を満足そうに持って帰る姿があちこちで見られました。



アワビの稚貝放流
無事に育つてね

河野地区栽培漁業推進協議会が、5月9日、体長約3cmのアワビの稚貝11,000個を放流しました。

放流した稚貝は、京都府海洋センターで生産、昨年11月に越前町米ノにある中間育成施設に搬入され、約半年間海に浮かべた箱の中で育てられたものです。飼育された稚貝は、海藻などにより殻が濃い緑色をしているのが特徴とのこと。小雨の降る中、飼育用のカゴに付着している稚貝を丁寧に取り外した後、海岸岩場に次々と放流。放流された稚貝は順調に育つと3〜4年で水揚げが可能になるといわれています。



町スポーツ少年団結団式
友情と協力で喜びを学びます！

5月12日、南条小学校体育館で、町内のスポーツ少年団13単位団と指導者、母集団など約200人が集まり、結団式が行われました。

式では、大塚町スポーツ少年団本部長が「日々の練習を通して、自分を高めてください」とあいさつ。各団に町スポーツ少年団認定証を送りました。また、13単位団を代表して湯尾バレーボール少年団の岩居キャプテンが「健康な体と心を養い立派な人間になりませ」と誓いの言葉を述べ、団員らは今年一年の活動に新たな決意を固めました。

式の後には交流会として体力テストが行われ楽しみながらも真剣な姿で挑んでいました。